

平成30年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	世界文化自由都市宣言40周年事業		
予算額	6,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算
担当課	市長公室 政策企画調整担当(222-3035)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>本市は、昭和53年、文化による世界との交流と平和の実現を、都市理念として追求する「世界文化自由都市宣言」を宣言し、文化を基軸とした都市経営を進めてきた。</p> <p>この間、「宣言」の理念は、世界歴史都市会議や連盟の創設、京都市国際交流会館等の整備、国際日本文化研究センターの誘致など、幅広く具現化し、また、こうした「宣言」の理想の追求が、文化庁の全面的な京都移転決定につながったといえる。</p> <p>平成30年度は、「宣言」から40周年を迎える節目の年となる。</p> <p>今日、世界各地で紛争が絶えず、我が国周辺でも国際的な緊張が高まっていること等を踏まえ、宣言40周年を機に、今一度、文化による世界との交流と平和の実現という「宣言」の理念を、市民ぐるみで共有するとともに、国内外に発信し、広く共有することにつながる周年事業を展開する。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>1 宣言の再確認・再評価 記念シンポジウムの開催等 「世界文化自由都市宣言」の起草に関わった方など関係者等により、宣言の今日的意義や、宣言を踏まえたこれからの京都の役割等について、市民の方々と共に考えるシンポジウムや顕彰などを通じて、宣言の意義の再確認・再評価を図る。</p> <p>2 宣言の共有・次世代への継承 パンフレットの制作と配布 宣言をわかりやすく紹介するパンフレットを制作し、次代を担う小中学生等をはじめ幅広い世代の市民などに配布・周知して、宣言の意義の共有・継承を図る。 (その他、各局・区等において宣言の周知・共有促進に資する関連事業を実施予定。)</p> <p>3 宣言の発信 映像の制作と紹介・発信 海外の方々等にも理解いただきやすいよう、宣言のメッセージをわかりやすく伝える映像を制作し、在京外国機関や国際交流会館など関係施設等での紹介や、インターネットでの発信等を行う。</p>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			